

第5回 水害対策調査特別委員会

令和4年8月12日（金）

午後1時28分～午後1時58分

議会第1会議室

【出席委員】黒田利人委員長、平原嘉徳委員長、福井章司委員、重松 徹委員、
実松尊信委員、村岡 卓委員、御厨洋行委員、江口善己委員、
川崎健二委員、諸富八千代委員、稲葉嵩広委員

【欠席委員】藤田佳典委員

【委員外議員】なし

【執行部出席者】なし

【案 件】

・今後の調査について

○黒田委員長

こんにちは。若干時間が早いですが、全員出席しておりますので、ただいまから水害対策調査特別委員会を開催いたします。

第5回の水害対策調査特別委員会を始めますが、まず藤田議員から欠席したいという旨、申出がっておりますので、その旨の御報告をいたしたいというふうに思います。

本日の次第につきましては、タブレットに掲載しております。まず、今後の調査の方向性について委員間協議を行いたいと思います。次に次回の調査項目について、その後にその他という順で行いたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

まず、前回の執行部から説明を受け、今後の調査の方向性について、今から皆さんの御意見を聞いて、まとめたいというふうに思います。執行部の説明によりますと、国、県、市が一体となった水害を防ぐということで、防災力の強化、雨水を流す、雨水を溜めると、ハード、ソフト対策を組合せて水害を防ぐという、その中には、施設の新設・改良、土砂災害を防ぐ被害を減らす、などの説明がございました。それを受けて今日は、皆さんに資料でお渡ししておりましたが、雨水を流すという、資料の青色の部分について、どうするのか、皆さんの御意見をお伺いしたいということを思っております。今後の進め方といたしましては、雨水を流す、雨水を溜める、施設の新設・改良について、それぞれ委員会行い、それぞれ委員長報告を行う。その後、出てきた問題点と災害を減らす、ということについて執行部と協議をして、中間報告をまとめていきたいというふうに思っております。詳細を申しますと、9月定例会から12月定例会間におきましては、雨水を流す中、事業の現地視察と委員間協議。12月定例会から3月定例会間には、雨水を溜めるの中で、事業の現地視察と委員間協議。3月定例会から6月定例会間につきましては、施設の新設・改良の中で、事業の現地視察と委員間討議。以上の委員会を経て、6月定例会から9月定例会間に

2回、委員会を開催予定しているところでございます。1回目は、前3回の委員会及び被害を減らす中での質問事項について、執行部と討議。2回目は、これまでの委員会の内容から、中間または最終報告書の作成、ということでしたというふうに思っていますが、大雨等で緊急的に委員会開く場合や、行政視察については、追加して協議をしてみたいというふうに思います。

それでは先ほど申し上げました、雨水を流すという項目の中で、協議をしてみたいというふうに思いますので、どなたからでもいいですから、この中で…、この分について、調査をしてほしいということがあれば、お聞かせいただきたいというふうに思います。恐らく事前のメールにはそんなふうを書いて、皆さんに連絡したというふうに思います。これは、1つの項目ごとに調査をしないと、全体的に焦点がぼやけてしまいます。そこで、この項目についてはここ、という具合にしていかないと、私の論戦も定まらないと思いますので、そういう形でやっていきたいというふうに思います。以前の現地視察で3、4か所見ましたけれども、そのほかにこの中で関係のある部分があれば、ここは是非とも調査していただきたいということで、提案をしていただければ、

○御厨委員

質問にもちよっとなるかと思うのですが、この雨水を流すってところで、例えばですが、新村愛敬雨水幹線の整備の話とかも前回伺って、すばらしいなと思ったんですが、この雨水が結局この後どこに流れて、どのように最終的に流れていくのかというのが、ちょっと説明ではまだ詳しく分からなかったもので、雨水を流すというものの全体的な流れといたしますか、その後どこに流れ着くってところまで、調査できればなというふうに、ちょっと私は個人的に思ったので、発言させていただきました。

○黒田委員長

そうですね、分かりませんもんね。実は、それを今から調査していくわけですよ。現場を見て、この川はここまですと。どういうところに問題点がありますということを出していただいて、協議をしていくということでございます。ありがとうございました。ほかにございませんでしょうか。

○村岡委員

今回の流す、というような部分で言えば、尼寺の雨水幹線のほうですね。ここは雨水幹線自体もそうですけれども、城東川のほうに流すポンプの工事とかも、今ちょうどしている状況でもありますし、その手前の、元のごみ処理場のところの貯水計画というようなところもありますので、そういったところなんかも、現地視察を行いながら、現状の把握というような部分も、必要ではないかなというふうに思うところです。

○重松委員

嘉瀬川の堤防の強化ということで、どういった形でされるのか。堤防を新たに設置するのか、ここは説明あったのかちょっと覚えてないんですが。前回の資料に載っていますが、

堤防を強化って今の状態で強化するのかどうか。

○黒田委員長

一級河川嘉瀬川という14番の項目ですね。

○重松委員

具体的にちょっとどうされるのか。

○黒田委員長

今、嘉瀬川はずっと工事をされています。特に、石井樋近くの高さ対策で。ほかにございませんでしょうか。

○福井委員

基本的にやっぱり二つ大きく分かれているのは、やっぱり雨水幹線の整備とそれから河川改修になっていて、まず雨水がやはり今、物すごくこうずっとこう、特に城東川と、それから地蔵川の部分があるので、そこが実際どんなふうに流れているのかというのは、我々は、案外市民の方から聞かれても分からんところも一つあります。この辺が一つ、まずは、すっきりさせるのが第1ということと、その辺は我々もやっぱり日常的に認識しておかないと、やはり実情、市民の皆さん方に対しても、この辺が非常に、今問われてきているときに対応出来なきやいけないんだと思っていますので、その上で今度は一級河川の分の、やっぱ改修なのかなとちょっと思ったものですから。まさにここに、大きく二つなっているんで、まずは下水道雨水幹線の整備のところからスタートするのが、手順かなとちょっと思ったもので、そういった意味でもちょっと提案をさせていただきたいと思っています。

○重松委員

これも、前回の執行部からの資料ですけども、今年度の主な取組の中で、水を流すということで、しゅんせつの拡充でありますもんね、Newって書いて、新しく。しゅんせつは本当必要だと思うんですよね。今どこの河川も。泥がもう堆積していますので、どこら辺のしゅんせつを行っていくのか、具体的にちょっとしづらいなと思っています。

○村岡委員

さっき、重松議員言われたみたいに、地域、特に春の川を愛する週間でもそうでしたし、先日も地域の道路苦役をさせてもらったときとかでも、やはり地域の皆さんからの、川に入れる現状がなかなか高齢化で厳しくなっているところも増えてきて、恐らく各地からしゅんせつの要望というのはかなり市のほうにも出ているのではないかなと思いますので、何か現状とか。あとそれに対して、長期的に計画がなされるのか。5年に1回の地域からの要望とかがあっていうのに対応していく優先順位付けられているという現状は分かるんですけども、その上でそういった要望に、ここで書かれているしゅんせつの拡充というのは、どのように対応していかれるのかというのは、確認させていただければと思います。

○重松委員

やっぱり一級河川とか二級河川。国とか県、市が担当する河川。いろいろあると思うんですね、実際。このしゅんせつはどういった予算を使って、どのようにやっていくのか。国、県また市の河川。具体的にどうするのか、そこはちょっと知りたいなと思うんです。

○黒田委員長

そうですね。先日も現地視察で、丸目のときもやっぱり海側というか、その付近のしゅんせつについても、きちっとやっぱりすべきじゃないかと、現地を見てそういう感じもしました。それは、恐らく国か県のどっちかの予算だろうというふうに思いますけどね。ほかにございますか。今、要するに下水道の整備ですね。雨水について、尼寺の雨水幹線。それと城東川の雨水幹線、それと地蔵川。恐らく向こうとこっちになると思うのですが、地蔵川の幹線等ですね、今出たところでございます。それと河川改修では、嘉瀬川の改修どうなっているのかというようなものが出たと思います。それと河川のしゅんせつですね。あれについては、恐らく全体的なことでしょう、先ほど言われたように、契約については国と県、ほとんどそういう形で。小さい河川につきましては市が担当しますがけれども、大きい河川につきましては、国や県のいろんな事業でございますので、そこの絡みもあると思います。そういうことが出ましたので、ほかにはございませんでしょうかね。特に中心街の水害について、やはり令和元年と3年の8月の集中豪雨について、私たちの記憶も新しいわけですから、何らかの手だてをしなくては、またぞや繰り返されることになってしまいますので、それについて今、具体的にちょっとやっぱり指摘をしていきたいというふうに思っているところでございます。あと、新村愛敬の雨水というのは…。

○御厨委員

私が、その後どこにつながっているとか、これを例えで出したんですけども。要するにその対策したのはいいんだけど、その経路というか、その水がそのあとどこに行くのかとか、そういう全体的なところを知りたいっていうのがありました。

○福井委員

新村愛敬が、なんていうかこんな風に、きれいに整備されてきた分だけ、今度は水がどんどん下に流れてきて、それを今度どうするかということになってきているんです。その分だけ、今度逆に言うと、下の部分ではかなりあふれてきていて、いわゆる地蔵川と、城東川の部分のしゅんせつについて対応を早くしないと、結局下はどんどんあふれてしまっているよと。だからこうやって、やりましたっていうならいいんだけど、その分の余波がどんどん下にきているから、その辺はちゃんと対応してくれないと困るんですねっていうのは、特に中心部の皆さん方から上がって来ますよね。

○黒田委員長

取り上げますと、雨水を溜めるになりますけれども、御濠に溜めるっていうことを大々的に言っても、溜めてその後どうなるのか、そのようなことも次の課題になる可能性がありますからね。そういう形の論議をやったりしないと、確かに河川のいろんな改修は、下

流のほうからずっとしてきているんですもんね。しているんですが追いついていないのが現実でございます。要するに、どれを優先すべきなのかという感じになるわけでございますので、皆さんの御意見を聞きたいというふうに思います。今の尼寺雨水につきましては、ちょっと離れておまして、上からの問題がありますからそれはしましても、やはり城東川と新村愛敬、それと地蔵川の三つにつきましては、どういう形で、どれを優先してやっていくかということ。大体、地蔵川と、城東川と一緒にぐらいなので。

○重松委員

それはちょっと執行部に聞いて、順番を決めてようなかですか。そがんせんないば、進んでいるところ進んでないところがあるけんが。

○黒田委員長

今ですね、地蔵川につきましては、8年からやりたいというような計画になっています。ちょっと説明は状況を聞くというか、地蔵川は今ずっとやっってはいるんですが、これの国の予算もありまして、要するに一応、今上がった部分につきまして執行部に聞いて、委員会としてはこういう問題意識を持っていると、当局としてはどうかという形で聞いて判断をして、次の会議のときにお諮りしたいというふうに、いたしたいと思います。それでよろしいですかね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

今後でございますけれども、一応執行部と打合せをしまして、1日で終わるのか。もしくは、もう1回開いたり、何回かして、ある程度こんな形でやらないと、ずるずるというわけにはまいりません。そういうつもりでやりたいと思いますから、話を、こういう意見があったのでと聞いて、それを皆さんにお返して、開催につきましては通知をいたしたいというふうに思います。今日、先ほども言いましたように、皆さんの御意見を聞いて、現地視察を入れて、午前中に現地視察をして午後から、委員間協議をするという形がいいのか、それとも、もう現地視察は視察、委員会討議は討議と別日にするのか、こちらとしては、出来たらもう1日で、午前中現地視察をして午後から討議という、そういうスタイルをとりたいたいというふうに思っておりますが、どうでしょうか皆さん。

(「はい」と呼ぶ者あり)

いいですね。そういう形でやりたいというふうに思います。それで詰めていきたいと思いますがよろしく願いをいたしたいというふうに思います。それでは今出ました次の委員会についての日程について、今日皆さん何かあれば。9月議会は決算がありまして、終わりが10月の初めぐらいまでかかりますもんね。だからその途中にするのか。

(発言する者あり)

それでは、正副委員長に一任してください。協議をして、そういう一日で済むような形でしたいというふうに思いますので、よろしく願いをいたします。それでは、ちょっと早いかもしれませんが、幸いにしてまだ佐賀は、集中豪雨等も、少しあったんですが、被害等も

出ておりません。ただ喜んでおりますが、今からではないかなというと思いますけれども、行政視察を、日程はある程度、この時期がいいんじゃないかということで、ある程度大まかな日程について皆さんと早くお話ししたいと思います。日程としては11月の14日の週はいかがでしょうか。何か都合が悪いということであれば申し出てください。その週の火曜日ぐらいなのかと考えますが、分かりませんが、その週の日程で行政視察を組みたいと思いますので、それ分かり次第皆さんします。行き先につきましては、当局とも打合せしながら、これは重松議員も言われたことを踏まえて、いろんな形で検討して、正副委員長に一任していただければ、また皆さんに通知したいというふうに思います。日程については、なるべく早く分かり次第御報告をいたします。皆さんから何にもなければ。

○福井委員

この災害の問題で、市長のほうから、特にそのITといいますか、そういうものを活用して住民の皆さん方に現況を即座に知ってもらうような、そういうシステムとか体制とか考え方を持って今進めていますというお話があったんで、そういうものがもう少し具体的に分かるのであれば、皆さん方に明らかにしていただくことはできればありがたいと思っています。ちょっと調べてみるとほかの地域でITを使ったその災害対策、結構進んできているんで、そういった点で機会があればありがたいと思っております。

○黒田委員長

恐らく、市長さんが言われたことについては、もう執行部がある程度動いていると思いますので、それはまた申し入れをして。そういう機会を。

○福井委員

我々ちょっと一般質問出来ませんので。

○黒田委員長

聞きたいというふうに思います。

○重松委員

その点ですけれども、前回の話だったのですが、市民避難指示に関しては市が設置してる防災カメラ27台は、うち6台を常時ホームページに流しているそうです。残りの21台は、大雨注意報が発令された時点で追加で公開すると。というようなこと言われていました。その後も状況が動いているはずなので。

○黒田委員長

そうですね、カメラも。そういうことにつきましても当局に聞きたいと思います。次の機会にそれまでに恐らく水害がないように私も願いたいというふうに思います。市長につきましても、その申し入れについては担当課を通して、お伺いしたいというふうに思っておるところでございます。ほかにございませんか。

○川崎委員

雨水を溜めるというところでちょっと気になってる点があつて、尼寺第二調整池を見に

行ったのですが、底がちょっと浅いような気がするんですね。例えば神野公園の西のほうの八戸溝遊水地ですか、あそこなんかは地面よりずーっと低くて、川より低いんですけども、それに比べてこちらは川と同じ高さというか、調整池なのに…、調整池だからでしょうかね。底は掘ってないから。ここを掘ったらもっと溜まる。溜めることできるんだろうにねと思いつながら見ていました。

○黒田委員長

その問題については次の議題や課題としたいと思います。雨水を流すから、次に溜めるということで。溜めるについては御濠の問題も十分あると言われましたね、やっぱり調整池の問題もございますので。

○川崎委員

次ということでございますね。失礼しました。

○黒田委員長

ほかにございませんでしょうか。なければ、これで水害特別委員会第5回、5回終わります。お疲れさまでした。

令和 年 月 日

水害対策調査特別委員長 黒 田 利 人